

2019国会請願署名

2019年 月 日

埼玉県知事 大野元裕 様

学童保育の大規模解消、指導員の処遇改善等を求める陳情書

陳情団体 埼玉県学童保育連絡協議会
会長 長倉 香
(住所) さいたま市大宮区桜木町4-147-1 藤本ビル3F

陳情趣旨

埼玉県は、学童保育のトップランナーとして、単独補助を拡充し、「県放課後児童クラブガイドライン」を掲げ、学童保育の“質”を維持し発展させてきました。
2015年にスタートした「子ども・子育て支援新制度」によって、改善は見られるものの、①有資格者の支援員の複数配置が「従うべき基準」から「参酌基準」とされたことで、保育の質の低下が危惧される ②全国で2番目に多い待機児童数や大規模クラブ ③ 深刻な指導員不足 ④ 障害児を受け入れの環境整備等、問題は山積しています。以下の諸事項の早急な実現を陳情申し上げます。

陳情事項

- 1. 県は学童保育の子どもたちの安全・安心と質の向上を旨につくられた、「県ガイドライン」(「児童数20人未満に放課後児童支援員2名以上、20人以上に3名以上」「常勤で複数配置に努める」)をもとに、市町村の設備運営基準の維持・改善を指導・助言してください。
2. 「待機児童ゼロ」「大規模解消」を政策目標に掲げ、国の施設設備や運営費等について必要な予算化を図ってください。また、40人での分離・分割が可能となるよう、市町村に大規模クラブの「分割計画」の提出を求めてください。
3. 指導員不足の解消とすべての学童保育において常勤複数の指導員配置ができるようにするために
① 県単独の施策・補助について、すべての地域が対象となるように拡充を図ってください。
② 「放課後児童支援員等処遇改善等事業」並びに「放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業」の積極的な活用を市町村へはたらきかけてください。
③ 常勤職員を複数配置しているクラブに対して県単独補助の加算と、緊急に指導員を確保するために県単独の「放課後児童支援員緊急確保事業」を、創設してください。
4. 障害児の受け入れを促進するために、専門家を派遣して保育現場と家族を支援できる「学童保育専門の巡回相談」制度を創設してください。

Table with 2 columns: 氏名, 住所

*この署名用紙は厳重に保管し、集計後埼玉県に提出します。陳情以外の目的に個人情報を使用されることはありません。

すべての子どもに格差なく、等しく質の高い保育を保障するために
保育・学童保育関係予算の大幅増額と施策の拡充を求める請願書

衆議院議長殿
参議院議長殿

年 月 日
紹介議員
請願代表者氏名
外 名

請願趣旨

保育・学童保育は、誰もが安心して子どもを産み育て、働ける社会を実現するために不可欠な社会資源です。子どもの命と安全が守られ、豊かな発達が保障できる条件整備をすすめることは、国の責任です。しかし、国は待機児童解消を名目に規制緩和や基準の切り下げをすすめており、地域・施設間の格差の広がりが、保育の質の低下が懸念されています。
保育・学童保育の現場は年々厳しさを増し、職員不足も深刻です。子どもの命を守り、その豊かな育ちを保障するためには、職員の増員と処遇の改善が必要です。
この他にも都市部での待機児童解消、人口減少地域における保育の確保、保護者負担のさらなる軽減、実態をふまえた公定価格(保育費用)の改善など、解決すべき課題が山積しており、施策の抜本的改善が求められています。
ついでに、公的責任のもとで安心できる保育・学童保育を実現するために、以下について請願します。

請願事項

- どの地域、どの施設でも、すべての子どもに格差なく、等しく質の高い保育が保障されるよう、保育・学童保育関係予算の大幅増額と、施策の拡充を求めます。
1 すべての子どもに質の高い保育を保障するために、保育・学童保育職員の賃金を引き上げ、職員を増員してください。
2 待機児童を解消するために、質が確保された認可保育所等や学童保育を整備・拡充してください。
3 保育の無償化にあたっては、年齢や所得などの制限を設けず、給食費も含めて保育に係る経費を対象にしてください。
4 子育てしやすい労働環境を実現するために、仕事と子育ての両立支援策の拡充など必要な措置を講じてください。

Table with 2 columns: 氏名, 住所

*この署名用紙は厳重に保管し、集計後国会に提出します。国会請願以外の目的に個人情報を使用されることはありません。